

# 薩摩川内市 SDGsチャレンジカレンダー

自分自身や家族と一緒に取り組んでいく目標を設定してみましょう。



	取り組みのチャレンジ目標	SDGs 17の目標	自己評価
記入例	残さず食べる	12 (17の目標の中から選んで記入しよう)	○ △ ×
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

年の成果と 年に向けた目標

薩摩川内  
SDGsチャレンジ

# 薩摩川内市

# SDGs

## ガイドブック

みんなで  
一緒に考えよう!

エスディージーズに  
チャレンジ!

年 組

教えて!

# SDGs(持続可能な開発目標)ってなに?

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



世の中には、解決できていない多くの問題があることを知っているかな。例えば、貧困や飢餓に苦しんでいる国や地域があることも解決できていない問題の一つ。それらの問題を解決しようと193の国が集まり「世界中の人たちが豊かに暮らし続けるためにはどうしたらよいか」を話し合ったんだ。その

結果、定められた国際社会共通の目標を  
エスティナブル  
SDGsと言うんだよ。SDGsは“Sustainable  
Development Goals”の略で、「17の目標」と「169のターゲット」で構成された取り組みのこと。でも、みんながこの目標を知らないことには各目標を達成することができないんだ。だから、これからくわしく説明するね。

サステナブルとは持続可能という意味で、今のことだけではなく、未来を生きる人たちも、この地球で今みたいに暮らせるということなんだ。



## SDGsの17の目標

2016年から2030年までの15年で達成すべき17の目標を紹介!



世界の貧困を学び、何ができるかを考え、地球上のあらゆる形の貧困をなくそう



飢えをなくし、だれもが栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう



子どもも大人も世界中のだれもが、健康で幸せな生活を送るようにしよう



だれもが公平に、良い教育を受けるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう



男女平等を実現し、性別関係なくすべての人が能力を伸ばして可能性を広げ、自分らしく生きられるようにしよう



だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していくようにしよう



すべての人が、安くて安全で地球環境にやさしいエネルギーをずっと利用できるようにしよう



みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生きがいを持って仕事ができる社会をつくろう



災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう



持続可能な社会のために、海の資源をみんなで守り、大切に使おう



世界中から不平等をなくし、すべての人が取り残されないようにしよう



陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使おう



だれもがずっと安全に暮らせるように、災害にも強いまちをつくろう



平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくろう



生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう



世界のすべての人があなたで協力し合い、これらの目標を達成しよう



気候変動から地球を守るために、具体的な対策を考え、今すぐ行動を起こそう

まずはできそうなことからやってみよう!  
くわしくは5ページ目をチェックしてね!▶

## どうしてSDGsに取り組むの？

今、世界中で、貧困、人種差別、環境破壊など、解決しなくてはならない問題がたくさん起こっているんだ。これらを放っておくと、地球で生き物が暮らしなくなったり、お金を生み出す経済活動に支障が出てしまったりするなど、地球の限界を迎える恐れがあるんだ。そうならないために、日本も政府を中心に、企業、自治体など、さまざまな方向から取り組んでいるんだよ。2023年2月に公開された世界における日本のSDGs達成度は166カ国中21位。2030年のゴールに向け、どこまで目標を達成できるかは、一人一人の取り組む意識で大きく変わるはずだよ。



アイコンの背景色は、■緑が「達成済み」、■黄色が「課題が残る」、■オレンジが「重要な課題がある」、■赤が「深刻な課題がある」

矢印の色は、↑がSDGsの達成を順調に進めている、または維持している、

↗がやかに改善へ、→が停滞へ、↓が減少へ 出典:Sustainable Development Report 2023



## SDGsって私たちにも関係あるの？

私たちの生活に身近なプラスチック製品。その廃棄物の多くは、リサイクルとして人件費の安い国を中心に輸出しているんだ。しかし、輸出先で正しく処理されないことによる環境問題が発生。特に深刻なのは、海や海岸に漂流する廃棄物によって、ストローが鼻に刺さったウミガメや、お腹から膨大なごみが見つかったクジラの死体など、海の生物たちの命を脅かすだけでなく、自然破壊を招いていること。人件費の安い国で製造される衣類の過剰生産も同じ。大量の水を使用し、その水を廃棄することで水不足や水質汚染につながっているんだ。つまり、知らないうちに様々な問題に関わっているから、一見遠い国の問題に見えることも、私たち一人一人の行動が、世界の問題とつながっているんだ。



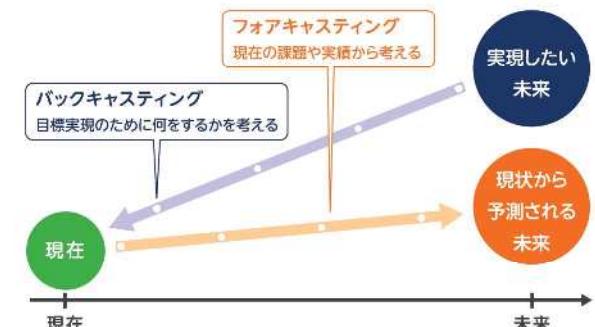
## さまざまな問題をどうやって解決するの？

17の目標と169のターゲットは関連性があり、さまざまな問題の同時解決につながるんだ。下の図を見ると17の目標は、「経済圏」「社会圏」「生物圏」の三つの断層からなっているよね。「経済」の発展は、生活や教育などの社会条件によって成り立ち、「社会」は「生物」の住む自然環境に支えられていることを表しているんだ。「生物圏」を知るキーワードは「環境問題」と「気候変動」。持続的な発展のためには土台となる自然環境を整えなければ、その上の「社会」と「経済」を支えることができないよね。このような仕組みを知ることが問題解決の鍵なんだ。



## 目標達成のために何をすればいいの？

2030年の目標達成に向けて、「自分がどう取り組んでいくか」を考えよう。叶えたい未来を具体的にイメージし、それを実現するためには、どのように行動していくべきかを逆算しながら考えることを「バックキャスティング」と言うんだよ。これは社会課題を解決するためにとても有効なんだ。過去の経験からアイデアを出す「フォアキャスティング」という考え方だと、経験の中でしか解決策が出てこないから叶えたい未来に近づくのが難しいんだ。みんなもまずは、自分が無理のない範囲で続けていくことを「バックキャスティング」で考えてみよう。



# まずは、できそうなことからやってみよう! /

レベル

1

レベル

2

レベル

3

レベル

4

## 家にいても できること



自分ができることにチェックしよう

- 衣類を自然乾燥する  
(節電のため)
- 短時間ならシャワーを利用  
(節水のため)
- 紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルする  
(限りある資源を大切に使う)
- 窓やドアの隙間をふさいで  
エネルギー効率を高める  
(エネルギーを大切に使う)
- エアコンの温度を、冬は低め、  
夏は高めに設定する  
(無駄なエネルギーを使わない)

●自分ができることを具体的に書いてみよう

### ポイント

無駄遣いをなくすことは家庭の光熱費を軽減するだけでなく、次の世代へエネルギーを残すことにつながるよ。できる範囲で続けることが達成への一步!

## 家の外で できること



自分ができることにチェックしよう

- 地元で買い物する  
(地域の企業の支援や雇用確保)
- 「訳あり品」を買う  
(規格外というだけで、捨てられる野菜も)
- 詰め替え可能なボトルやマイボトルを使う
- 買い物はマイバッグを持参する
- 使わないものは寄附する。

●自分ができることを具体的に書いてみよう

### ポイント

地球温暖化や海洋汚染などの自然破壊にもつながりかねないプラスチック廃棄物。レジ袋などを控え、ごみの分別を行うこともSDGs達成につながるよ。

レベル1から4まで自分ができそうなことをチェックしてみよう!!

レベル

3

## 学校や習い事で できること



自分ができることにチェックしよう

- ヘチマや朝顔を育てる  
(地球温暖化対策)
- 英語学習に取り組む  
(世界の人々とつながるため)
- 性別による差別をしない  
(ジェンダー平等の実現)
- 牛乳パックのリサイクルや古紙・古着回収
- ボランティアや国際交流に参加する  
(福祉活動の参加や世界に目を向けるため)

●自分ができることを具体的に書いてみよう

### ポイント

自分とは異なる考え方をもつ人や日本以外の國の人ともふれ合い、さまざまな考え方があることを知ろう。それがお互いを認め合うことの土台になるよ。さあ、始めよう!

## 地域で できること



自分ができることにチェックしよう

- 地域の人たちとふれ合う  
(さまざまな考え方の人たちが共存できる社会)
- 地域の清掃活動に参加する
- 緑のカーテンや花を植える  
(地球温暖化対策)
- ペットボトルのキャップ回収  
(リサイクル)
- 地元で生産されたものを買う  
(地産地消)

●自分ができることを具体的に書いてみよう

### ポイント

さまざまな考え方の人たちが共存する社会を実現させるために、身近な人と仲良くすることから始めよう。あらゆる価値観にふれることが大事だよ。

## \もう一歩、取り組みを深めてみよう/

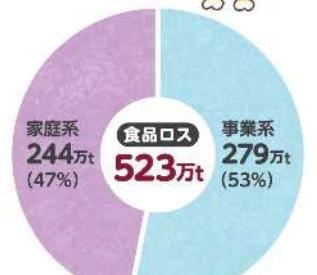
### 食品ロス(フードロス)ってなに?



本来食べられるのに、家庭や飲食店、コンビニなどで廃棄される食品のことなんだ。日本における食品の量は、年間でなんと523万トン。これを日本人1人当たりで計算すると、1年で約42キログラムの食品ロスとなり、毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てていると変わらないくらいの量になるんだ。本当にもったいないよね?

「食品ロス」と「フードロス」は同じ意味なの?

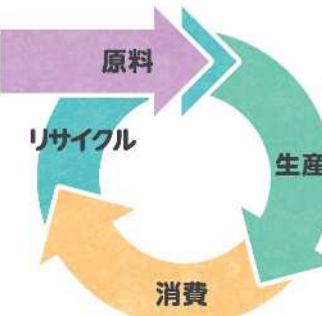
「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。「フードロス」とは、生産・収穫・製造・加工を経て、流通されるまでの間で廃棄されてしまう食品のこと。



### サーキュラー・エコノミーってなに?



サーキュラー・エコノミーは、循環経済という意味で、これまでごみとして捨てられていたモノを新しい素材として利用することで、ごみを出さない経済活動のことなんだ。海洋プラスチックごみを始め、環境汚染や廃棄物による地球への悪影響は深刻な問題なんだ。薩摩川内市では、市民や事業者、地域、学校など、みんなと一緒にやってごみの減量と経済活動が豊かになることを目指すサーキュラー・エコノミーに取り組んでいるんだ。



取り組みを習慣にして  
続けてみよう!

まずは  
やってみよう!  
できることが  
たくさんあるよね

## \学びを生かして実際に考えてみよう/

### 食品ロスについて

いつしょ

### 自分や家族と一緒にできることはなんだろう?

- 残さず食べる
- 冷蔵庫や保存庫の中にあるものを確認してから買い物に行く
- 必要な量だけ買って、食べきる
- 捨てずにすむように保存の工夫をする



● そのほかにもできることを考えてみよう

### 食品ロスに取り組むと、世界にどんな良い影響があるの?

世界の食糧生産量のうち、3分の1が廃棄されていると言われており、食べられずに捨てられた食料は2億人分に当たるという事実がWFP※のサイトで紹介されています。世界で食品ロスに取り組むことは、SDGsの2番目の目標「飢餓をゼロ」を達成するための重要な鍵になります。また、捨てられてしまう食料は焼却される際、CO<sub>2</sub>を排出する「CO<sub>2</sub>発生源」となるため、食品ロスの削減はSDGsの重要課題でもある気候変動対策にもつながります。  
※WFP: WFP国連世界食糧計画(国連WFP)は、緊急時に命を救い、食料支援を通して、紛争や灾害、気候変動の影響から立ち直りつつある人びとのために平和、安定、繁栄への道筋を構築している世界最大の人道支援機関です。

### サーキュラー・エコノミーについて

### 実際に行われていることはなんだろう?

ごみを出さないための工夫 みんなが知っていることもたくさんあるよ!

- アップサイクル…廃棄物や不要になったものに手を加えて再利用すること  
例: ジーンズなどの古着→バッグ 例: 果物の皮→ジャムやチップス
- リサイクル…廃棄される物の中から使える物を原料や材料として再利用すること  
例: ペットボトル→衣類 例: 紙ごみ→再生紙・トイレットペーパー



● 自分にできることや家族と一緒にできることを考えてみよう

みんなに  
伝えよう

習慣化したことを  
みんなに発信してみよう!

「#薩摩川内SDGsチャレンジ」で投稿しよう!▶





# 知ろう! 考えよう! 伝えよう!

**市民勉強会** 令和4年から実施

座学+ワーク形式  
対話しながら  
学び共有

**教職員ワークショップ** 令和5年に初実施

先生たちも  
学んで  
実践している

薩摩川内市でSDGsについて学べる場。  
さまざまな場所でSDGsにふれ、日々の生活で実践しよう!!

## おいからちゃん出前授業

学校や地域で実施

ゲーム感覚で  
楽しみながら  
SDGsを  
学べる

## 市内の会社や団体の活動

職場体験や施設見学

実際に  
見て、ふれて  
体験を

職場体験

職場見学

野菜販売

高校生食堂



## 薩摩川内市SDGsチャレンジの取組について

### みな いつ しょ 市民の皆さんと一緒に 薩摩川内市の未来づくりを



薩摩川内市では、2021(令和3)年6月8日に、市長が「薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言」を実施し、2030年SDGsの達成と2050年カーボンニュートラル※の達成に向けて取り組んでいます。

また、2022(令和4)年5月20日には、国(内閣府)のSDGs未来都市に選定され、今後さらにSDGs及びカーボンニュートラルの達成に向けて、「薩摩川内SDGsチャレンジ」を合言葉に市民総ぐるみで取り組むことを目指しています。

持続可能な社会の実現のために、「薩摩川内SDGsチャレンジ」を合言葉として、一人一人ができることからSDGsの達成に貢献し、市民

のみなさんと一緒に薩摩川内市の未来をつくる各種取組を実施しています。

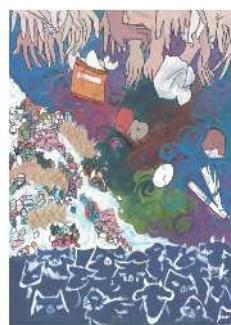
※カーボンニュートラル:  
温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取り組みこと



みんなで決めた! /  
薩摩川内SDGsチャレンジ  
ロゴマーク

市をかたちづくる歴史・生物・地形・活動といった様々な要素をモチーフにしてSDGsをイメージさせる多様なカラーと一つの内でとりまとめることで、市全体が調和しながらSDGsの達成に向けて取り組んでいくことを表現しました。

### 小中学生絵画コンクール



「悲しい現実」 石原真緒さん

テーマ: フードロス(食品ロス)削減  
令和4年度 最優秀賞



「未来の海」 梶尾花莉さん

テーマ: 私が取り組みたいSDGs  
令和5年度 最優秀賞



NPOいきす・つなぐ入来  
空き家再生プロジェクト

中川 功さん



株式会社植村組

植村 一さん



繋ぐ未来の大人

坂口 聰さん



さつま川内未来  
ライオンズクラブ

東原 真由美さん



種籠地区コミュニティ  
協議会会長

上床 博道さん



認定NPOじゃっど鹿児島

帖佐 理子さん



肱岡 泰徳さん



森重 心結さん



株式会社薩摩水道

芹ヶ野 裕史さん



こども食堂おばちゃんち

皆吉 縁さん



株式会社FRONT-A

福永 幸央さん



株式会社O's company

大上 泰弘さん



就労継続支援B型事業所  
みんな

成松 由香里さん



一般社団法人甑島社中

伊原 友寛さん

薩摩川内市でSDGsに取り組む人たち